

GOシリーズのbarをお買い上げいただきありがとうございます。
barはバランスUSB DACアンプです。

1. オーディオフォーマット/周波数/サウンドエフェクト LED表示

GO bar Kenseiが音源から受信しているサンプリング周波数とオーディオフォーマットをLEDの色で表示します。サウンドエフェクトモードも表示されます。

対応するオーディオフォーマットを示すために、異なる位置が点灯します。

フォーマット/周波数

LED1

-
- 256
- 128
- 64
- DSD

LED2

- PCM
- 384kHz
- 192kHz
- 192kHz
- 44kHz

サウンドエフェクト

LED

青
オレンジ

ステータス

XSpace*
XBass+*

*XSpace Matrixはホログラフィックな音場を再現します。ヘッドホンをスピーカーで聴いているかのように聴くために設計された純粋なアナログ信号処理回路である。これは、リスニングを不安にさせる「頭の中に音楽がある」感覚に対処するものです。

*XBass+は、さまざまなヘッドフォンに合わせて低音域のレスポンスを拡張するために独自に設計されました。純粋なアナログ信号回路です。

※XBass+やXSpaceシステムには、音質を阻害するDSPは使用されていません。最高品質のディスクリート部品を使用し、純粋にアナログ領域で動作します。従って、オリジナル音楽の明瞭さと解像度はそのまま維持されます。

2. K2HD LED表示

JVCケンウッドの「K2HDテクノロジー」を搭載。「K2HD」は変質・劣化したデジタル音源をオリジナルマスターと同等の音質に復元し、高音質を実現します。

「K2 TECHNOLOGY」および「K2HD」は、株式会社JVCケンウッドの商標または登録商標です。

LED

白
オフ

ステータス

オープン
クローズ

3. MQA/デジタルフィルター LED表示

MQA

LED

緑
青
マゼンタ

ステータス

MQA
MQA Studio
オリジナルサンプルレート*

*MQB

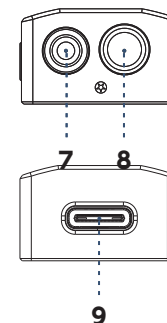
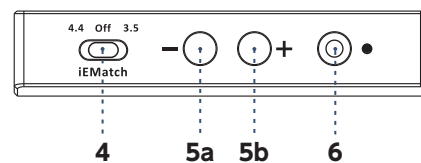
PCM再生用デジタルフィルター

LED

シアン
白
赤
黄
オフ

ステータス

BP
GTO
STD
MIN
DSD再生



4. iEMatchスイッチ

iEMatchは出力レベルを下げ、特に高感度なインイヤーモニター (IEM)でもGO bar Kenseiにマッチさせることができます。

iEMatch { 3.5 = 3.5mm headphones
off = off
4.4 = 4.4mm headphone

※iEMatchスイッチの調整が間違っても、GO bar Kenseiやヘッドホンが損傷することはありませんが、減衰レベルは正しくありません。

5. ボリュームとゲインボタン

音量を上げるには「+」ボタンを、下げるには「-」ボタンを押します。ボリュームボタンを押している間、ボリュームレベルはGO bar Kenseiに短く表示され、一度に点灯する白色LEDの数で示されます。

音量の増減は、携帯電話/コンピューターの音量と同期させることができます。同期がオンになっていれば、接続されたデバイスのディスプレイに音量の変化が表示され、デバイスのボリュームを使って音量を調整することもできます。GO bar Kenseiのボリュームボタンはそのまま使用できます。

デフォルトでは、同期機能はオフになっています。オン/オフを切り替えるには、設定ボタン(6)を8秒以上押します。オンの場合、6つの白色LEDが上のPCM LED、下のK2HD LEDからその中間に向かって順に点灯します。オフは、6つの白色LEDが逆方向に消灯することで示されます。

ターボモードはゲインを6dB増加させます。オン/オフを切り替えるには、ボリュームの「+」「-」ボタンを同時に2秒以上押します。ターボモードのオンは、2つの白色LED(K2HD、DSD)点灯から6つ点灯に増え、同時に2秒間点灯することで示されます。ノーマルゲインは、6つの白色LED(K2HDからPCMまで)が2つに減少し、2秒間点灯することで示されます。

※感度の高いヘッドホンやイヤホンの場合は、ターボモードをオフのままにしてください。感度が低いヘッドホンの場合はターボモードをオンにするのが適切です。

仕様は予告なく変更する場合があります。

6. 設定/デジタルフィルターモード/K2HDモード ボタン

このボタンは以下の順に切り替わります。

Off > XSpace > XBass+ > XSpace と XBass+ (ショートクリック)

サウンドエフェクトのLED表示については、項目1を参照してください。
デジタルフィルター設定モード(長押し3秒)は下記をご参照ください。

K2HD設定モード(長押し3秒)も下記をご参照ください。
K2HD LED表示については、項目2を参照してください。

デジタルフィルター設定モード

デジタルフィルター設定モードに入るには、ボタンを3秒以上押し続けます。MQA LEDが点滅し、現在設定されているデジタルフィルターの色が表示されます(項目2に表示)。ボタン(5b)を押してフィルターの選択を変更します。設定ボタン(6)を短く押すと、フィルター設定モードが選択され、終了します。

以下の4つのデジタルフィルターが利用可能です。

- BP** (シアン) ビットパーフェクト：デジタル・フィルタリングなし、プリ/ポスト・リングングなし
- STD** (赤) 標準、控えめなフィルタリング、控えめなプリリングングとポストリングング
- MIN** (黄色) 最小位相、スローロールオフ、最小プリリングング、最小ポストリングング
- GTO** (白) ギブス・トランジェント・オブティマイズド：352/384kHzにアップサンプリング、
最小限のフィルタリング、プリリングングなし、ポスト・リングング最小

※GTOフィルターが選択されている場合、表示されるサンプルレートインジケータは352.8/384kHzのみとなり、このフィルターのアップサンプリング動作を示します。

K2HDモード

設定ボタン(6)を3秒以上長押しし、MQA LED(3)が点滅し始めた後、「+」(4a)を押すとK2HD LEDが点灯し、K2HDが有効になったことを示します。

※K2HDモードは、ファイルフォーマットがPCMで、サンプリング周波数がPCM192kHz以下である場合にのみ有効です。ファイルフォーマットがDSDまたはMQAの場合、K2HDモードは無効になり、有効化できません。

※K2HDモードとGTOフィルターの両方が有効な場合、GTOのサンプリング周波数は192kHzになり、K2HDモードが有効でない場合、GTOのサンプリング周波数は384kHzになります。

7. S-バランス3.5mmヘッドホン出力

3.5mmヘッドホン接続用で一般的なTRS(3極)とTRRS(4極)に対応したシングルエンド対応バランス端子です。

8. バランス4.4mmヘッドホン出力

バランス4.4mmヘッドホン接続用のフルバランス出力端子です。

9. USB-C入力端子

USB-C端子は最大32ビット384kHzの再生が可能で、MQAのフルデコード、DSD256までのネイティブDSDに対応します。

※スマートホンのバッテリー残量が30%未満と少ない場合、古いiPhone(6S以前)ではGO bar Kenseiが動作しない場合があります。

※GO bar Kenseiの音量同期機能がオンで、音楽ソースがWindows経由のTidalの場合、Tidalの強制音量設定がオフになっていることを確認してください。この機能がオンになっていると、音量調節ができず、音量が最大になります。これは、接続されたヘッドホンや聴力を損傷する可能性があります。

仕様

入力	：USB-C
対応フォーマット	：DSD256 / 11.3MHz PCM 384kHz フルMQAデコーダー
DAC	：シーラスロジック社製ビットパーフェクトDSD & DXD DAC
ヘッドホン出力	
バランス	：4.4mm
S-BAL*	：3.5mm
RMSパワー出力	
バランス	：477mW @ 32; 7.2V @600Ω
S-BAL*	：300mW @ 32; 3.8V @600Ω
出力インピーダンス	
バランス	：≤1Ω/iEMatch使用時:≤3.6Ω
S-BAL*	：≤1Ω/iEMatch作動時:≤3.6Ω
SNR	
バランス	：≥132dBA
S-BAL*	：≥121dBA
DNR	
バランス	：≥108dB(A)
S-BAL*	：≥109dB(A)
THD+N	
バランス	：<0.0025% (600Ω @2.0V) @(20-20kHz)
S-BAL*	：<0.009% (16Ω @1.27V) @(20-20kHz)
周波数特性	：20Hz - 70kHz (-3dB)
一般	
消費電力	：最大信号 ～4W
外形寸法	：65×22×13.2 mm
正味重量	：65.5 g
限定保証	：12ヶ月**

*シングルエンド対応バランス型。

**標準的な12ヶ月間、または現地の再販業者法によって許可/要求された期間。

***仕様は予告なく変更される場合があります。

※「K2 TECHNOLOGY」および「K2HD」は、株式会社JVCケンウッドの商標または登録商標です。
詳細は、www.jvckenwood.com/en/technology/k2.htmlをご覧ください。

仕様は予告なく変更する場合があります。